

9月6日は

# 「水を大切にする日」

平成6年の夏、佐世保市は百年に一度といわれた大湯水に見舞われました。同年9月6日、市内全域で制限給水に入り、期間は二百六十四日間にも及びました。市では、この大湯水時の経験を忘れないよう、9月6日を「水を大切にする日」として、水の有効利用と節水を呼びかけています。

佐世保市にとって水資源の確保は重要な課題です。この日を機会に、いま一度「水の大切さ」を考えましょう。

干上がった相当ダムの様子  
(平成6年11月撮影)



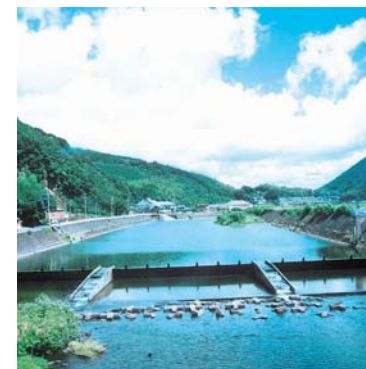
満水状態の相当ダム  
(ことし8月撮影)

**水道事業の現状**  
佐世保市は、地形的に山が海に迫り、大きな河川に恵まれていないことから雨水が十分にたまりず、小規模な6つのダムと、流量が不安定な河川からの取水に頼っているのが現状です。

**水資源確保のための対策**  
市では、大湯水を機に水資源確保に取り組み、短期・中期・長期の対策を策定しました。

### 短期対策

①川棚川暫定豊水施設  
川棚川の流量が豊富なときに、それまでの1日の取水量1万5千立方メートルと合わせて、最大2万立方メートルを取水できるようになりました。  
(平成8年7月完成)



川棚川暫定豊水施設

②小森川取水安定施設  
小森川に貯水量2万6千立方メートルの可動堰を建設。  
(平成9年3月完成)



小森川取水安定施設

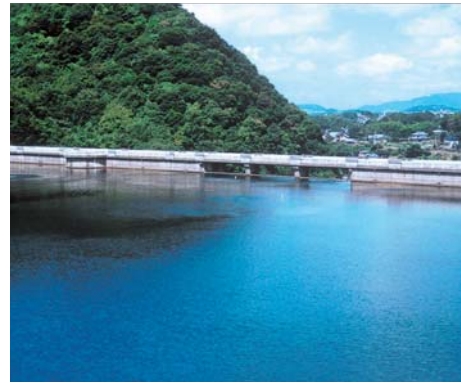
③菰田導水増圧施設  
菰田ダムからの導水能力を向上させるため、導水管に増圧ポンプを設置しました。  
(平成9年7月完成)

④南北融通施設  
南北水系の格差を解消するために、北部水系から南部水系へ日量6千立方メートルの送水が可能となりました。  
(平成9年8月完成)



南北融通施設 (折橋配水池)

**中期対策**  
○下の原ダム再開発  
かさ上げによる貯水量の増加が図れないか、平成7年度から調査を開始しました。平成12年度には、国からの水道事業の変更認可と県からの水利権の許可を受けました。現在、導水施設の移設などの工事に掛かっています。平成15年度からは本体工事に着手する予定です。



現在の下の原ダム (ことし8月撮影)

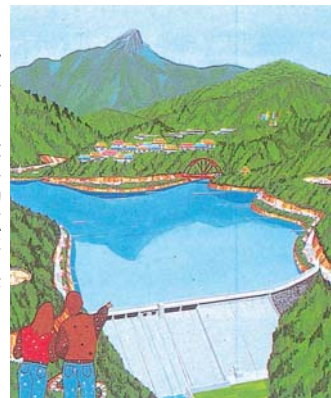
### 下の原ダムかさ上げの概要

項目	現在	かさ上げ後	増加分
ダム高 (m)	30.6	36.5	5.9
有効水深 (m)	14.0	18.6	4.6
有効貯水量 (m <sup>3</sup> )	1,319,000	2,182,000	863,000

事業が完了すると、有効貯水量の増加分で佐世保市の平成13年度1日平均配水量(81,000 m<sup>3</sup>)の約10日分が確保できるようになります。

### 長期対策

○石木ダム建設  
川棚町に県が計画している多目的ダムで、完成すれば1日6万立方メートルの水道用水が確保できます。一部の地元住民の皆さんから賛同が得られず、現在に至っていません。1日も早い完成を目指しています。



石木ダム完成予想図

お尋ね  
水道局総務課  
(☎1151)

日本水道協会特別会員で「佐世保と水」の著者でもある永元為市さんに、佐世保の水道についてお話を聞きました。



永元為市さん (長尾町在住)、元佐世保市水道局長 (昭和38年～46年在任)

### 制限給水は「佐世保の名物」

佐世保市は、地形的に大きな河川に恵まれず、水資源に乏しいので、これをいかに克服するかが昔からの課題でした。戦前は、海軍所有のダムから市民へ給水していましたが、天気が続けば海軍からすぐに制限給水の命令が出ました。敗戦後、米軍が進駐していたときは、米軍には制限給水できませんでしたが、市民はしばしば制限給水を強いられていました。その後、米軍基地も縮小され、川谷ダムや下の原ダムが完成して、ある程度給水が安定しました。しかし、供給人口から考えるとまだ足りず、佐世保から制限給水がなくなることはありませんでした。

**佐世保の水はおいしい**  
市外から来た人から、佐世保の水はおいしいと聞くことがよくあります。これは、佐世保の水源地周辺の山林などの状態が、昔から良い状態でほとんど変わらないためだと思っています。

**地元住民との心と心のふれあい**  
現在ある6つのダムは、すべて旧市外に建設したものです。当時からダム建設には大変な苦労がありました。ダム建設は地元住民の協力無しでは完成しません。お互いに尊重し合い、犠牲者への感謝の気持ちが必要です。

**都市の発展には水が一番大事**  
水は日常生活に欠くことのできない、命の次に大事なものです。都市の発展は、水道によっていかに市民に不自由を与えないで、安価な水を安定して供給するかに掛かっているとも言ってもいいと思います。

そのためには、水資源に乏しい佐世保は、新しいダムを造ることが必要です。地元の方へ感謝の念を持って、石木ダム建設事業を進めてほしいと思います。そして、市民の皆さんも「水を大切に」使うことを忘れてはならないと思います。

下の原ダムの放水口側では現在、導水施設の移設などの工事中

